

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2004-096967
起案日	平成19年 2月21日
特許庁審査官	月野 洋一郎 3460 5H00
特許出願人代理人	大塚 康徳(外 3名)様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・平成19年1月26日付けで補正された請求項1-9
- ・引用文献1
- ・備考

[請求項1について]

引用文献1には、パーツを結合すること、および、印刷待ちデータを優先順序の順序に並べること(請求項1の「アクティブオブジェクトグループリストにおいて最も高い優先度を有し、かつ、完全に形成されたオブジェクトグループを出力リストに出力する」ことに対応)が記載されている。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2000-112693号公報

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

(なお、意見書提出時に補正を行う場合には、意見書に、当該補正の理由を、その根拠となる出願当初の明細書又は図面の記載箇所を明らかにしたうえで記載されたい。)

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

連絡先 特許審査第第四部 画像処理 相澤祐介

TEL. 03 (3581) 1101 内線 3531

FAX. 03 (3501) 0715